

ご一緒にしましょう コミュニティづくりを!

# 中野ふくし倶楽部通信

「中野ふくし倶楽部」は、主に中野区に暮らす人々の福祉の向上と子どもたちの豊かな育ちに貢献することを目的としています。

NPO 法人 中野ふくし倶楽部  
 発行責任者 北風敦子  
 編集者 田中芳樹  
 中野区中央 4-53-7 YHNビル 101  
 TEL 03-3384-5616  
<http://www.nfcaozora.org/>

## 介護保険が危ない

### 「医療介護総合推進法」で社会保障はどうなる?

健友会 介護福祉事業部長 **齊藤 稔** さん

6 月 21 日でした

介護保険の話に入る前に、「今憲法が危ない」というお話がありました。危ないのは 9 条—集团的自衛権で戦争できる国づくり、そして 25 条—公的責任を投げ捨てて、自己責任の強要です。消費税は全額社会保障に使うと言ったのに、どうなっているのでしょうか。

地域包括ケアシステムは一面で自助を促す面があると同時に、地域が手を取り合ってささえあう体制を作る、地域づくりの積極的な側面もあります。

今回の介護保険改訂で、介護はどうなるのでしょうか。要支援を介護保険からはずし、自治体に「丸投げ」する、といっても実際にどうするのかまったく未知数であり困難です。これから具体化する段階で様々な問題が出てくるでしょう。

病院の差別化を促す再編計画も進行中です。そのための準備として、特定看護師を新たな医療の担い手にする方向がすすめられています。

今後の推移を注視するとともに、介護の質を下げない、介護労働者の待遇改善を進めるなどが求められます。今後、介護保険をめぐる運動はますます重要になってきます。

豊富な資料で説明していただきました。介護保険が直面している問題が頭にぎっしり詰まって、ふくし倶楽部の総会にのぞむことができました。

次回、学習と交流の連続講座のご案内

### 映画「毎日ガアルツハイマー」のこと

お話し：大畑きぬ代

9 月 19 日(金)午後 6 時 30 分～

認知症になった母親、良き妻で真面目だったはずの母が、別人のように喜怒哀楽をあらわに出す人になった。2012 年公開の話題作「毎日ガアルツハイマー」、その続編「毎日ガアルツハイマー2」は7月 19 日から東中野の「ポレポレ」で上映中。

続編は「パーソン・センタード・ケア」を知った関口監督が描く、患者家族の苦労と涙の物語。

さて、今回の連続講座はこの話題作についてのお話し、もちろん映画を見ていない方でもわかるようにお話しします。

9 月 19 日です



まちかどスケッチ 田中芳樹



お年寄りにとっては、5センチの段差も危険です。停留所に着くと、車体ごと傾いて、段差を少なくするバスがあります。何だかバスが全身で「どうぞお乗りください」と言っているようで、頼もしく思えます。

# 中野ふくし倶楽部16期総会

NPO 法人中野ふくし倶楽部定期総会が 6 月 21 日に開かれました。

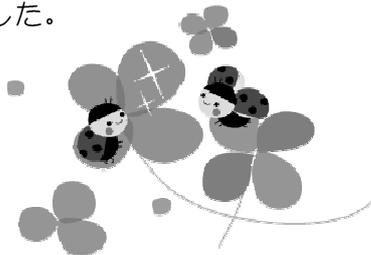
25 人の社員のうち〇人の参加、委任状〇人で、全員参加で成立し、昨年度の総括と決算、今年度の事業計画と予算を討議しました。

議案では、前回の総会で問題提起された、介護事業における「プラスα」の問題について、突っ込んだ提案がされました。「単に何かを付け加える」という意味ではなく、介護の現場において、利用者の生活の質を高める問題、そのための介護の質を高める問題として、より発展させた内容が提起されました。前回の「宿題」を深める形になりました。

あおぞら事業所に勤める30代の男性から発言がありました。「『プラスα』はすでに実践しているし、自分の中に蓄積されつつある。今後も質を高めていく。16年もNPO法人として運営しているのはすごいと思う。」など、前向きで積極的な発言でした。

議案では、社員をふやし大切にしていくな課題も提起されました。今回初めて連続講座と総会を続けて持つ試みをしました。総会にももう少し時間がかけられたらと少し反省がありました。

昨年度の総括と決算、今年度の事業計画と予算は承認されました。続いて新たな理事会人事が承認されました。



## 中野ふくし倶楽部日誌

- 5月25日 第10回理事会
- 6月21日 第16期総会
- 6月25日 スキルアップ研修「口腔ケア」
- 7月3日 中野区訪問介護部会研修
- 7月8日 職員全体会議

## 今年も ジャズ&ディナーで 中野の未来を語りあいましょう

12月19日(金)  
中野サンプラザにて

## 私たちは戦争する国づくりに反対します

安倍内閣が憲法の解釈を変え、集団的自衛権を容認しました。自衛隊が海外へ出て行って、戦争を行う危険が高まっています。これは、二度と戦争をしないと誓った憲法の立場を根本からくつがえすものです。

戦争は、福祉を根こそぎ破壊します。

私たちは「戦争する国を許さない中野共同行動」(6月24日結成)の趣旨に賛同し、戦争する国づくりをストップさせるため、皆様のご賛同を呼びかけます。 中野ふくし倶楽部理事会

## お元気ですか？

理事長 大畑 きぬ代

暑中お見舞い申し上げます

「健康寿命」は、日本人男性70.4歳、女性73.6歳だそうで、女性は平均寿命が86.3歳ですからその差の12年は、「日常的に介護を必要とせず、自立して生活できる生存期間」ではない、不健康寿命だということです。寝たきりの年数も欧米と比べると6年長いそうです。私たちは介護保険の利用者さんの”生活の質”をいかに上げるかをプランに入れ取り組んでいますが、健康寿命をいかに伸ばすかが課題となりますね。

厚労省は健康寿命をのばす「スマートライフプロジェクト」を推進、それは運動、食生活、禁煙三つです。毎日10分の運動、野菜の摂取を増やす、そして禁煙です。何とかやれそうですね。

中央5丁目にある「あしかりクリニック」が「食養講座」を始め、私も受講しています。「芦刈先生がお会いする毎にきれいになっている、その秘密を探りたい」というのが受講の動機でした。健康な食生活とは、グルメの対極にある玄米食と味噌汁、少しの大豆とわずかな動物性タンパク質であるようです。とはいえ認知症専門医の講座だから、この”食養”は認知症予防になることは間違いないだろうし、一石三鳥かなと毎日2食は30回噛む玄米食に挑戦しています。間もなく真夏日、スマートになっているでしょうか？

暑さが厳しくなります。みなさん無理をせず、お元気で。